家のお風呂
こうやって作る
こうやって保つ

1 2

Like 5　ポスト

前回は「お風呂が家にある＝あたりまえ」以前＆そうなるまでの歴史をひもときました。家の中に風呂を持ち込むということ＝水がかりのリスクを負うことでもあるということ、ご理解いただけたかたお思います。

さて、今回は、どこかの現場のお茶の時間。大工さんたちが風呂＝水談義をしているところに、ちょっとお邪魔してみましょう〜

「風呂は離れにっ！」
・・って、言えないけどなあ

大工A 「風呂は、離れにしたい」ってのが、俺の本音。極端な話、ドラム缶風呂でも露天部風呂でもいい、夏は行水ですませりゃいいじゃん！・・って、まあ、なかなか施主にそこまでは言えないけどさ。けど、わが家のお風呂は離れだよ。

大工B お前んとこは山ん中だからいいよなあ。気持ちは分かるけど、敷地の問題もあるし、母屋にお風呂のない家なんて今じゃなかなか作れないよ。俺は風呂入るたんびに外に出て、なんて、ヤだね！・・・けど、大工としては、気持ち、分かるよ。

大工A 木と水ってさあ、ほんと、危険な関係だもんなあ。風通しのいい場所なら、濡れても乾くけど、陽の当たらない密閉された環境で、水がかかるっての、きびしいよね。

大工B 風呂場って湯気もたつしさ。あの温度も曲者。洗い場まわりの、空気が淀んだ蒸れたような場所で、あったかい水がかかる木部なんて、ほんと腐朽菌の温床。水回りの改修なんかで「うわ〜〜っ、見たくねえ！」ていう状況、あるよね〜

大工A あるある！

シャワーの普及で
水がかりに無意識になってないか？

大工A 風呂場まわりの木部って、シャワーの普及で昔より劣悪な環境になってるって思わん？ あのミスト状の滴が、お風呂の木の壁とかにじゃんじゃんかかってさあ！

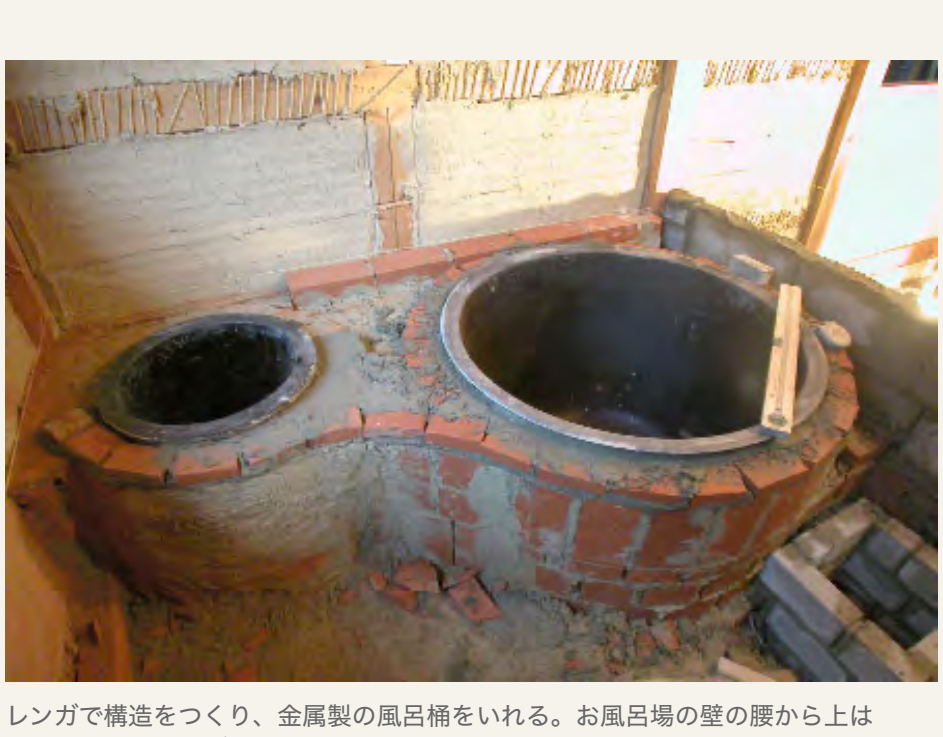
大工B 改修で入った古い家でさ「水まわりに土壁かよ！」ってびっくりしちゃったんだけど、風呂桶が真ん中に据えてあって、そのまわりの洗い場が腰から上、土壁下地の漆喰塗りっていう風呂場があったよ。

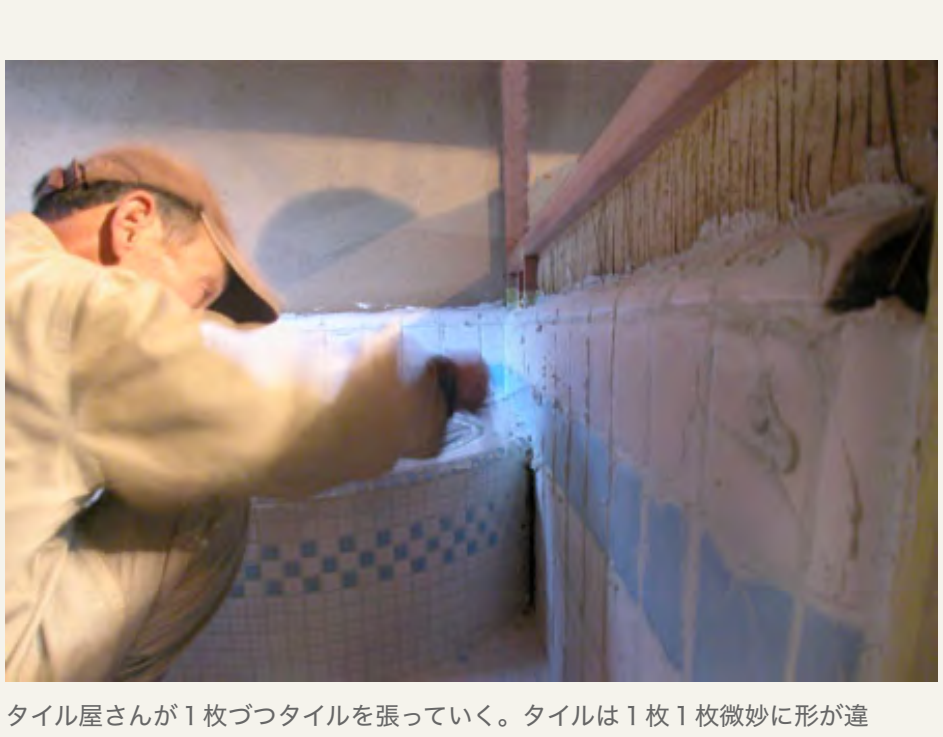
大工A 浴槽のお湯を手桶で汲んで、しゃがんだ姿勢でかぶるぐらいなら、そんなに水がかりもなかったのかもな。

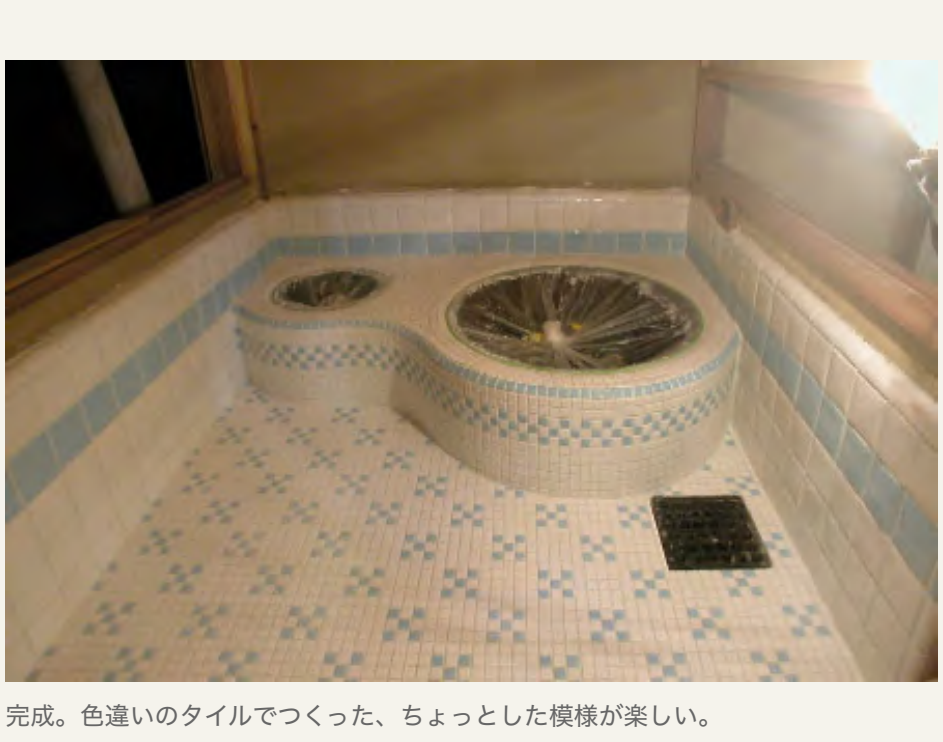
大工A まあ、今のご時世にはあり得ない施工だね。シャワーをジャージャー使っている時は、壁に水がかかることなんて気にもしないもんな。昔は壁を濡らさないってことが、家を維持するためにあたりまえの、たしなみ？みたいなことだったんだろうけど、そんな気遣いは失われちゃったよね。

「サツキとメイの家」のお風呂場は
こうやって作りました。

大工さんたちが話しているのは別の現場のことですが、似た作りのお風呂場があったので、ご紹介。木の家ネット会員の中村武司さん（工作舎 中村建築）、増田拓史さん（muku建築舎）たちがつくった「サツキとメイの家」のお風呂場の施工写真です。

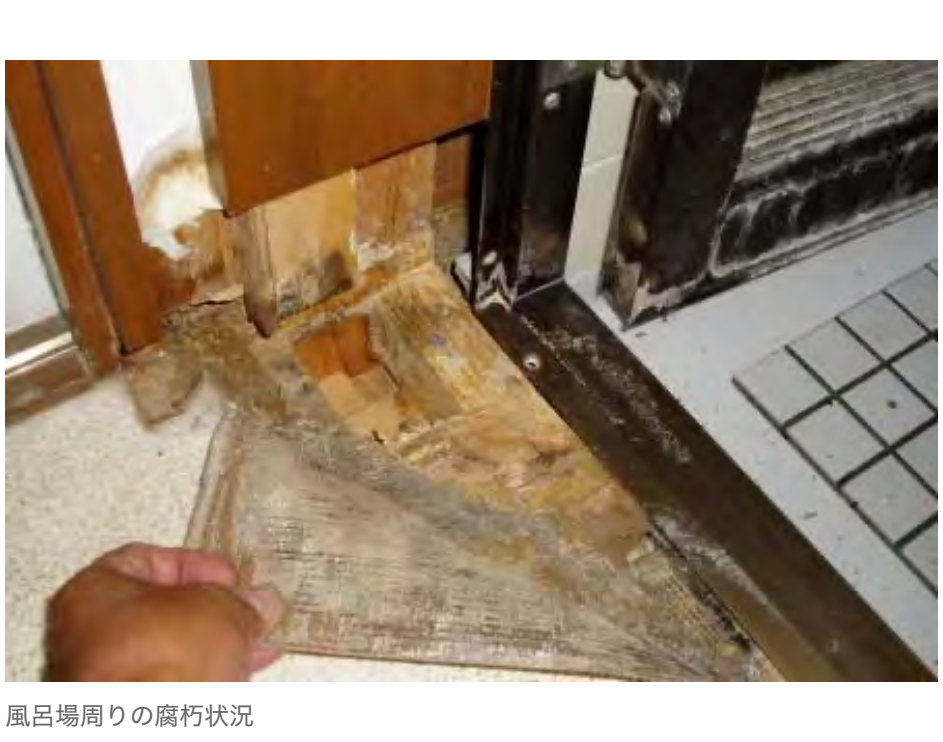

レンガで構造をつくり、金属製の風呂桶をいれる。お風呂場の壁の腰から上は土壁で、先に左官が壁土を塗ってからタイルの作業に入る


タイル屋さんが１枚づつタイルを張っていく。タイルは１枚１枚微妙に形が違うので、綺麗に貼るのは難しい。


完成。色違いのタイルでつくった、ちょっとした模様が楽しい。

大工B ほら、子どもなんかがさ、風呂場から水びたしのまんま走って出てくることとかあるよね。「中で手ぬぐいで拭いてから出てこい！」って叱られることもなくさ。温泉に行くと脱衣所との間のガラス戸に張り紙があったりするけどね。

大工A 家を長持ちさせるには、濡らさない。だから、濡れたら拭く。風呂場で拭いてから出て来る。基本中の基本なんだけど、ちょっとそこんとこ、忘れてやしないか？ってことだよね。木の家の引渡しん時には、そこんちの母ちゃんに伝えとかないとな！


風呂場周りの腐朽状況

現場施工 在来風呂の
決め手を握るのはタイル屋さん！

大工B 水のリスクとどうつきあうかって話だけどさ。水に強い素材でぴっちりと閉じたハコつくって、そん中に洗い場も浴槽もおさめて、給水管も排水管も直につないじゃって家の躯体には水の影響が及ばないようにするっていうのが、ユニットバスの発想だよな。

大工A マンションなんかだとさ、下の階への漏水のリスクって大きいから、ほとんどユニットバスにしてるよね。躯体の腐蝕リスクに対する、まあ、ひとつの考え方ではあるし、工期が断然短く済むのは、大きなメリットだね。専門職じゃなくても、ちゃんとした品質の風呂が施工できて、人手不足の今じゃあ助かるよ。

大工B 職人がそんなこと言っちゃいけねえよ！ それに好みの問題だけどさ、俺はやっぱり木の風呂桶が好きなんだよ。湯船に入って「ぷはぁ〜」って体を伸ばした時、両腕や背中に触れるのが木だと実にリラックスできんだなぁ。今となっちゃあ、ちょっと贅沢な話かもしれないけどよ、何事も手づくりが基本の職人の本音だよ。

在来風呂は、しっかりした
タイル施工があってこそ

大工A そう考えると、施工の自由度が高くて自然素材を使える在来（＝昔からあるやり方という意味）の風呂、予算の兼ね合いもあるけど、やっぱり、魅力的だよね。

大工B だよな〜 俺もそう思うわ。けど、現場で施工する在来風呂には、水がかりに強いタイルとか石とかの、ちゃんとした施工が必要だよね。

大工A そう。木部への水リスクを減らせるかどうかは、結局、タイル屋さんがきっちりした仕事をするかにかかってる。そういえばさ、何年前かに木の家ネットに腕のいいタイル職人が入ってきたじゃない？

大工B そう、そう！ 神奈川の小澤啓一さん（有限会社プローブ）ね。高知の総会でタイルのダンゴ張りの話をしてくれて、面白かったな。風呂場の話するなら、それ、まず小澤さんに聞かなきゃ！

施工中のお風呂場に
タイル屋の小澤啓一さんを訪ねて

基礎コンクリートのある家では、お風呂場はそれ以外の部分よりもコンクリートを高く施工します。給水・給湯・排水など設備関係の配管を仕込んだ上で、風呂場の壁や床になる下地となるモルタルを塗ります。その上で、壁や床に、水に強く、かつ足あたりのいいタイルなどを貼ります。

在来風呂の施工をするのは、大工ではなく「タイル屋さん」。木の家ネット会員で唯一のタイル屋さんの小澤さんを訪ねて、山梨県北杜市白州町の現場にでかけてみました。

有限会社プローブの小澤啓一さん

接着剤で貼るんじゃなく、
ダンゴでくっつけて積んでいく

ヨハナ （木の家ネット事務局・ヨハナ）小澤さんの仕事って、どんな仕事ですか？

小澤 （有限会社プローブ・小澤啓一さん）水が漏ることなく、気持ちよく風呂に入れるよう、どこまでも正確なタイル施工をするのが僕の仕事です。「ダンゴ張り」という方法でやっていて、精度では誰にも負けません。

ヨハナ 「ダンゴ張り」って？

小澤 今の普通のタイル施工って、一枚一枚張るんじゃないの、知ってました？？

ヨハナ ええっ、違うんですか！？ それはびっくり！

小澤 タイルが縦横に並んでいる、壁紙みたいなシートを、下地のモルタルに接着剤でビャーッと貼ってくの。いわば、平面でくっついてるわけ。ぼくのやっているダンゴ張りは、そうじゃなくて、一枚一枚の個別のタイルが、ダンゴ状にしたモルタルを介して、立体的にくっついているの。

小澤 モルタルダンゴが含むお水をね、下地のモルタルとタイルの陶器面とが、くっと「吸う」の。そのわずか20秒くらいの間に、タイルの位置を確定するというのが、ぼくの仕事の緊張感。接着剤でくっつけるタイルの「はる」は「貼る」だけど、ぼくの仕事にあてる字は「張る」。まあ、下から積み上げていくので「積む」という感覚だけどね。

ヨハナ タイルを張る下地も、タイルをくっつけるダンゴも、おんなじモルタルなのですか？

小澤 タイルを張る下地としてコンクリート基礎に塗るモルタルには、セメントと水と砂という通常の配合に加えて、少し海藻糊を入れてます。乾いてから、わざと少しかきおとして、面を平滑でない状態にして、ダンゴにするモルタルがくっつきやすいように細工したりしてます。

小澤 ダンゴにするセメントは、砂と水の配合がむずかしいね。セメントが多すぎれば剥がれちゃうし、砂が多すぎればボロボロになるし。配合は分量でなく、場数を踏んでいるうちに、感覚的に分かってくる。湿度や温度が違えば、適切な配合というのも変わるしね。だから、季節や地域に応じて臨機応変に配合は変えてます。

見て、やってみて
一人前のタイル屋になっていく

ヨハナ お風呂場って、狭いし、ひとりで施工するスペースしかないじゃないですか！ 親方と仕事に行っても背中見てるしかないという状況で、どうやって仕事を覚えてくんですか？

小澤 その通りなんだよね。大工だったら「この材のそっち持ってて」とか「あの材、積んどいて」とか、手元仕事がいくらもあるけど、タイル屋だとないからなあ。親方にくっついてって、仕事ぶりを見る中で覚えてくしかない。ひたすらじーっと観察して「こんな具合に混ぜるんだな」っていう理屈を「見て覚える」。

ヨハナ 見てるだけで、できるようになるもの？

小澤 そんなことは、ないさ！ じーっと見ている日々を重ねてくうちに、いきなり親方に「やってみな」って言われる。で、やってみる。けど、見てるとできそうなのに、やるとうまくできないんだよね。「そうじゃねえ、こうだ」みたいに取られてね。その「できない」悔しさ、じれったさから学んで、その先を覚えてく。そんな繰り返しで、感覚をつかんでくんだね。

小澤さんが使うコテ。これでもごく一部。

ヨハナ タイルを積む工程で、いちばん大事なことは？

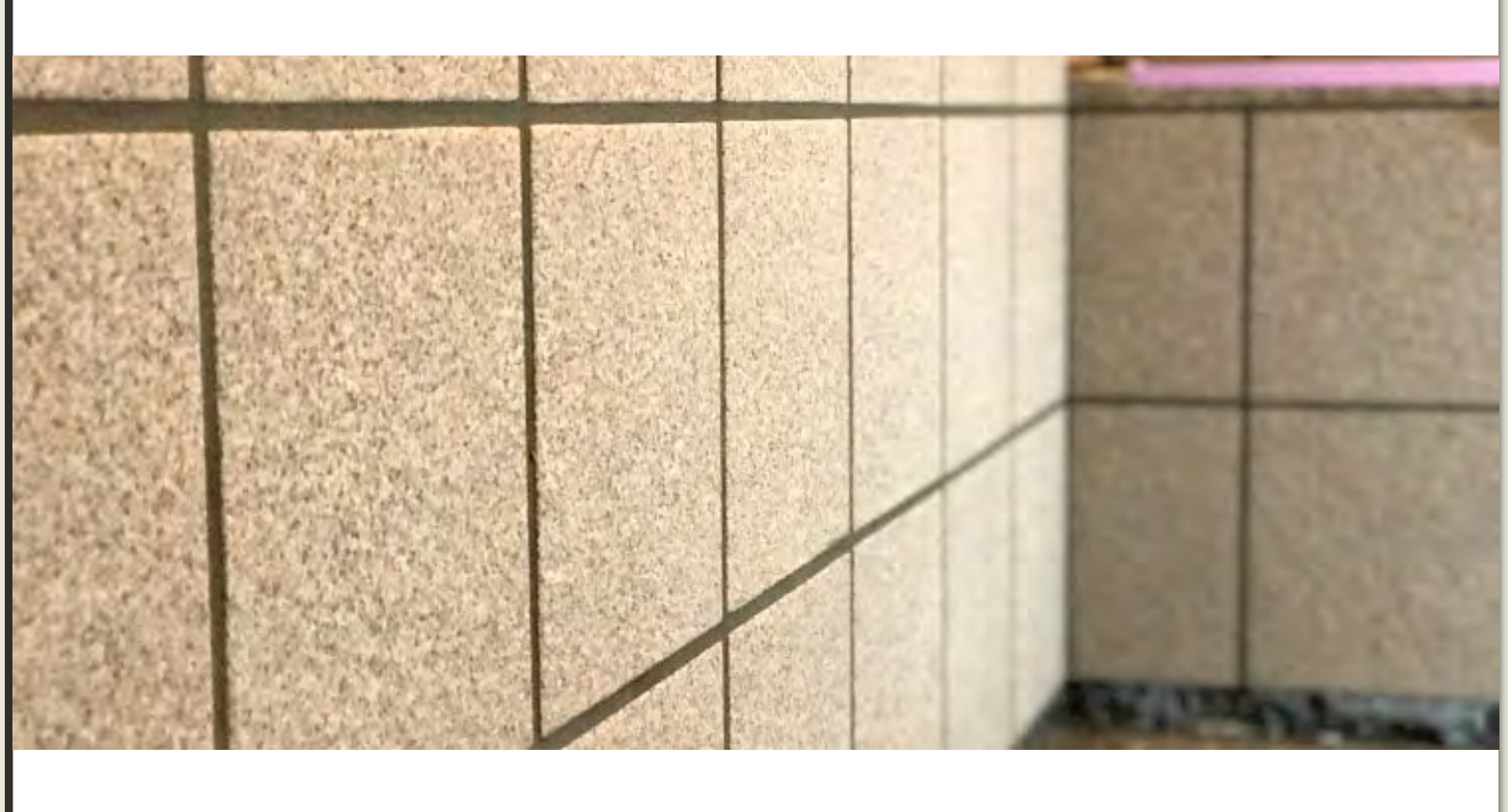
小澤 最初の一枚を張るまでに、正確な仕上りを得るための完璧な段取りを組むことです。風呂場に関わる職人って種類が多くて、タイル屋はその最後に入るわけだから、ぼくが現場に行く頃には、風呂場はタイル以外は、ほぼできているわけ。といっても、タイル屋目線で見ると、微妙に矩（かね＝水平垂直のこと）が出てなかったりする。

ヨハナ そうそう！ 古民家のわが家の風呂場に改修工事で入ったタイル屋さんが「この家にはカネがねえ」ってブツブツ言ってて。お金の話かと思って謝りそうになったけど「どのラインもまっすぐじゃなくて困る」ということだった、ってことがありました。

小澤 その上、積んでくタイルそのものも、真四角じゃなく寸法誤差があったりするからね。そんなキビシイ条件下で、仕上りはピタッっと、タイルの目地の縦横が0.1ミリも狂わずに合うような仕事をしなきゃいけない！

ヨハナ うわあ。フリーハンドで空中に正確なグリッドを書くようなものですね！

小澤 最終的にどこにもしわ寄せがいかないよう、帳尻の合う段取りをするために、ほんとに丸一日は考え込みますよ。「できた！」と納得できるまでね。で、納得の上での正確な墨を打って、積み始める。ここが一番大事なところだね。



ダンゴ張りのタイルは
一枚一枚積んでいくから、長持ち

ヨハナ ダンゴ張りのよさって？

小澤 長持ちということかな。今、主流の、接着剤で面状のタイルを貼るのを「圧着式」っていうんだけれど、接着剤を塗った平面だけでくっついているわけ。50年とか長い時間のうちには、接着面がぺろんと剥がれてくるよね。けれど、ダンゴ張りだと、一枚一枚のタイルが、モルタルのかたまりを介して下地とくっついているんだから「面でパラリと落ちる」ということは、ない。

ヨハナ 面状になっているタイルをビャーっと接着剤で貼るのと、一枚一枚積んでくのとでは、手間がすいぶんと違いますよね？

小澤 工期は３倍くらい。圧着タイルだと2日で終わるところが一週間かかるから「ずいぶん日にちがかかるんだね」と言われることもあるけれど、この精度の仕事でてこの日数でできてるのは、早いくらいだと自負してます。

ヨハナ ２日と一週間の人工（にんく）の差はあっても、仕上りの質がここまで違うことが分かれば、ダンゴ張りで頼みたくなりますよ〜

小澤 とはいえ、予算的に余裕のない家づくりが多いからね。風呂場にかける予算のない現場だったりすると、ぼくの人工を払う日数を抑えるために、５時半から現場に入ったりすることもあるよ。

ヨハナ ええ〜っ！サービス早出ですか？！

小澤 日当が何日分しか出ない、っていう中で質を高めたいとなればね。

ヨハナ すごい心意気。けど、こういう作り方をしているというのを理解してもらって、その分は予算をみておいてもらわないとね！

小澤 まあ、仕事の中身までは見えにくいからね。なかなか理解されないよ。

ヨハナ このコンテンツを読んでいる、あなた！には分かってもらえましたねっ

チームワークがあってこそできる
最高の施工風呂！

設計士の日高保さんは、家づくりをする時のさまざまな職人さんたちとチームで仕事をしています。風呂周りは、水道屋は森田水工の森田敦彦さん、タイル屋は小澤さんと、決まっています。

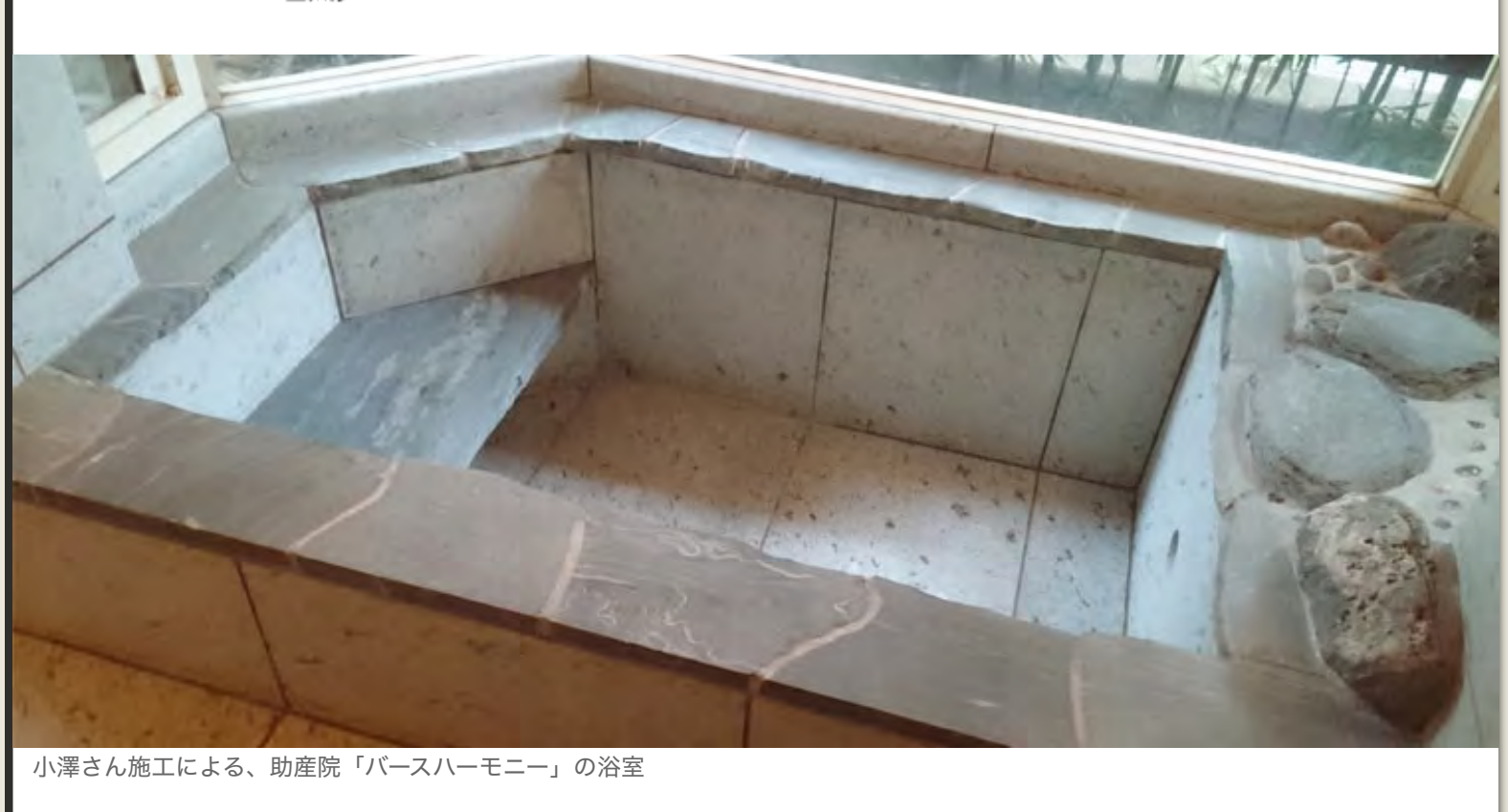
日高 最高のチームが成り立っているからこそ、在来での木のお風呂が実現できる。ありがたいことですよ。ほんとに、これは、バッチリなタイル施工をしてもらえる職人さんがいなければ、そして、いいチームワークなしには、できないこと！

「きらくなたてものや」の設計士、日高保さん。設計図面を引く傍ら、竹の伐採をして、土壁のための竹小舞を編んだり（三角形の小舞をつくるのが得意）、泥をこねたり、太陽光で料理したりと、いそがしい人です。

小澤 ぼく一人だけでいい風呂場ってできないんですよ。大工、基礎屋、水道屋と、順々に仕事していったあとでしかタイルは張れないから、その前段階で、チームのみんなと密に打ち合わせをします。お互いの立場を持ち寄って合議した上で、みんなで納得できる墨を決める。そんな関係性あってこそ、混成チームで作る最高の風呂場！ができるんです。

足あたり、肌触り、あたたかみ
五感がよろこぶお風呂です

ヨハナ 最近のイチオシのお風呂を見せてください！


小澤さん施工による、助産院「バースハーモニー」の浴室

小澤 これはタイルじゃなくて、十和田石の施工例。壁は青森ヒバ。横浜の助産院のお風呂なので、妊婦さんにリラックスして入ってもらえるように、素材にこだわりました。一口

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事
2019年6月15日 やさしくて強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん
2019年5月15日 磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所　西岡健一さん
2019年4月20日 大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 俊司さん
2019年4月10日 本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社木神楽　高橋一浩さん
2019年1月5日 新春特集 2018年のベストショット集
2018年12月29日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part3 大工の声＆今後の課題編
2018年12月17日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part2 実録編
2018年12月14日 板倉仮設住宅 移設ものがたり part1 概要編
2018年9月4日 番匠 剱持工務店 副棟梁・剱持大輔さん
2018年8月15日 鶴岡総会予告 その１　散るより、生き延びよ！

人気のある記事
伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 17件のビュー
家のお風呂　こうやって作る、こうやって保つ 16件のビュー
設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家 11件のビュー
設計士・古川保さん(古川設計室)：木の家づくりは仕組みづくり 10件のビュー
工務店・西條正幸さん(ビオプラス西條デザイン)：北海道で無垢の木の家づくり 10件のビュー
大工・池上算規さん(大工 池上)：長崎県産材100%の家ができるまで 8件のビュー
大工・宮内寿和さん(宮内建築)：大工が挑戦する「水中乾燥」 8件のビュー
大工・高橋俊和さん(都幾川木建)：初原の営みに魅せられて 8件のビュー
工務店・小田貴之さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー 8件のビュー
設計士・岩波正さん(三和総合設計)：なんで木の家がいいのか、とことん考える 7件のビュー

この記事のタグ

同じタグがついた別の記事

に石といってもいろいろあって、十和田石は、湿気や湯垢に強く、足あたりもやわらかくて、風呂場にいい石です。洗い場にも浴槽にも使えるしね。経年変化で黒くなってくんだけど、それが味にもなる。お湯を通して人の身体に摂取され得る微量のミネラルも出ているらしい。

ヨハナ
ここで生まれる赤ちゃんは、このお風呂で産湯をつかうということですね！

小澤
そういうことになるね。風呂は、汚れを落とすだけでなく、疲れをとる、ほっとする、ほどけるためのリラックスできる場所にしたい。洗い場の床にしても浴槽にしても、裸で触れるのだから、ひやっとしない素材を提案したい。毎日、そしてずーっと長く使うものだからこそ、素材の単価や施工性だけでなく、何を大事にするかをよく考えて、価値観をもって選んでほしいですね。

次ページでは、お風呂の手入れについて、お施主さんに訊きました

Like 5 ポスト

1 2

関連する記事はこちら

原発に頼らない家づくり＆暮らし方

第八期木の家ネット総会・小江戸川越大会のレポート

無垢の木を使って森づくりを支える

鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る

TSUMAGO
職人がつくる木の家ネット
掛川総会
レポート
TSUMAGOI
掛川総会

事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3
児島舎内
mail： jimukyoku@kino-ie.net
tel： 086-486-5464

(C) 職人がつくる木の家ネット /Shokunin ga Tsukuru KINO-IE net, All rights reserved.

家のお風呂
こうやって作る
こうやって保つ

1 2

Like 5　ポスト

お風呂の水がかりリスクに悩むのは、大工だけではありません。主婦にとっても、大いなる悩みの種ですね。浴槽には湯垢がたまり、タイルの目地にはカビがはえ、木の壁であれば、長い年月のうちに黒ずんでくるし・・・ドラッグストアに行けば、風呂掃除に特化した洗剤の種類のあまりの多さに、風呂場をキレイに保つことのむずかしさを思い知らされます。

例の大工さんたちが、またまた休憩時間に、こんどはお風呂のお掃除談義をはじめましたよ！

木のお風呂は施主を選ぶ？！

大工A 今回のお施主さんは、木の浴槽、壁も木がいい、っていうんだよね。「いいですね」って同調する前に「かびますよ」とか「風呂桶は20年ぐらいまでしかもたないかもしれませんよ」とか、リスクを語るようにしてるよ。

大工B 施主に覚悟か、鷹揚さが要るよな。木の風呂を採用するにはね。

大工A なんだよ・・それって、なんか真逆じゃない！？

大工B 覚悟。これは、メンテナンスフリーじゃないからね、掃除はちゃんとしてね、っていうこと。鷹揚さっていうのは、どんなに掃除したって、どっかしらカビたりもするよ、多少黒ずんだりしてきても、ゆるしてやってね、っていうこと。

大工A なるほどね、そう言われてみりゃ、どっちも正解かもな。

大工B ズボラすぎてなーんにもしたくない！っていう人にも、神経質すぎて、ちょっとの汚れも気になるっていう人にも木のお風呂は向かないと思うよ。

お手入れはしてね！ けど、気にしすぎないでね！！

大工A 逆をいえば、手入れにはある程度気をつかってね！けど、ちょっとぐらいの変化はまあ、大目に見てね！っていうぐらいの人がいいってことだよね。

大工B そうそう。そんな感じ！

大工A 知り合いの施主で、木の浴槽、木の壁のお風呂をこよなくアイシテル、っていうタイプの人がいるんだ。最初は毎日ちゃんと掃除してたらしいんだけど、子どもができて、前ほどきっちりでなくはなったけど、それでもまわってるって言ってたな〜

大工B いい加減になったっていうより、ちょうどいいほどほどの「良い加減」が身についてきたってところなんだろうな。

大工A だね。二人目の子育てと似てない？

大工B なんだよそれ！

大工A 第一子の時は神経質にこだわり過ぎて、くたびれたりキレたりしてたお母ちゃんが、第二子になると、手抜くところはいい具合に抜いたりしたりするじゃん！

大工B なるほどね。じゃあ、その施主さんは、子どもが生まれて、風呂が第一子じゃなくて第二子になったってことか！

大工A ん？？？　よく分かんないたとえだけど、ま、いいや。ちょっと、その若いお母ちゃんの話、聞いてみようよ！

毎日のお風呂のお手入れ、重宝しているのは、車用のアレ

きらくなたてものや日高さんの設計で、鎌倉に家を新築した山根弓子さんにお話をうかがいました。まだ小さい息子さんと旦那さんと、木の家で３人暮らしです。お風呂のタイルは、前ページでご紹介した小澤さんが張りました。

山根 （山根弓子さん）うちのお風呂は浴槽が木、洗い場はタイル張りで、上の方は板張り。木の香りがして、肌あたりがやわらかくて・・お風呂に入ると、一日の疲れがほどけていくようで、大好きです。

ヨハナ 木のお風呂はメンテナンスが大変って聞きますが、普段、どのようにお手入れしているのですか？

山根 必ずしているのは、最後に入った人がお湯を抜いて、お風呂場の窓を開けて換気すること。お湯は抜いても底に薄く残るので、ゴムの水切りがついてる、車用の窓拭き道具で水を切り、そのあと、乾いたぞうきんで水気を拭き取ります。

山根弓子さんとお子さん、それに愛用の窓拭き。

ヨハナ 子どもさんが生まれて、掃除法が変わったりしました？

山根 もともとがシンプルな掃除法なので、特に変わったこともないけれど、お湯を抜いたあと、拭くのが翌朝になったりすることが増えたかな。浴槽とタイル張りとが下の方で合わさるあたりや、浴槽の底板とか、少〜し黒ずんできます。これも自然な変化のうち！と思えています。

木の風呂掃除のポイントは、乾いた状態を保つこと

大工A 風呂掃除って、一回一回やっていることみれば、むずかしいことじゃないんだけど、継続するのはなかなか大変、ということなんだろうね。

大工B そこは家族のライフスタイルとも関わってくるよね。家族が続けて入れる家ならいいけれど、誰かが遅く帰って来て、その人が掃除をしない人だったりすると、なかなかね〜

大工A 風呂の水をしっかり抜いた上で、乾燥したぞうきんで拭く。そこのダメ押しが秘訣なんだろうな。あとは、窓をあけたり換気扇をまわしたりして、湯気が滞留しないようにする！

大工B なにしろ、あったかい水分を残さない。これに尽きるね！

材料のいいところも悪いところも知った上で選ぶ

大工A それでも、掃除してたって、いつまでも白木のままではいられなくて、年々、青黒いような点々や線は入ってくるよね。

大工B それを良くないもの、キタないものとして見るか見ないか。そこにかかってくると思うよ。水回りに木を使うからには、ある程度は「木の性質」として受け容れてもらえないとね。

大工A そこを俺らつくり手が、木の性質をどこまで説明できるかだよね。水がかかるとどうなる、乾くとどうなる。年月が経つとどうなる、ってね。

大工B いろんな材料のことを知っている、その俺らの引き出しを、施主には見てもらう。たくさんある中からどれを選ぶかは、あくまでも施主なんだよな。納得できていないと、木の本来の性質から当然起きるようなことでも、クレームになっちゃう。

大工A そこだよね。クレームっていうのは、買い物をした人がその商品が「こうであるはずなのに、そうじゃない」って文句をつけることだろ？けど、家づくりっていうのは、できあがったものを買うんじゃなくて、どんな材料をどう使うか、施主とつくり手が話し合って、内容的にも予算的にも折り合ったところで作っていくものなんだよね。 その材料のいいところも悪い所も、どっちも納得して使って、あとから起きること、たとえば木の風呂の例だと、掃除する事も、あとから少し黒くなってくることも引き受ける。そういう、施主の主体的な意識が、なにより大切だと思うな。

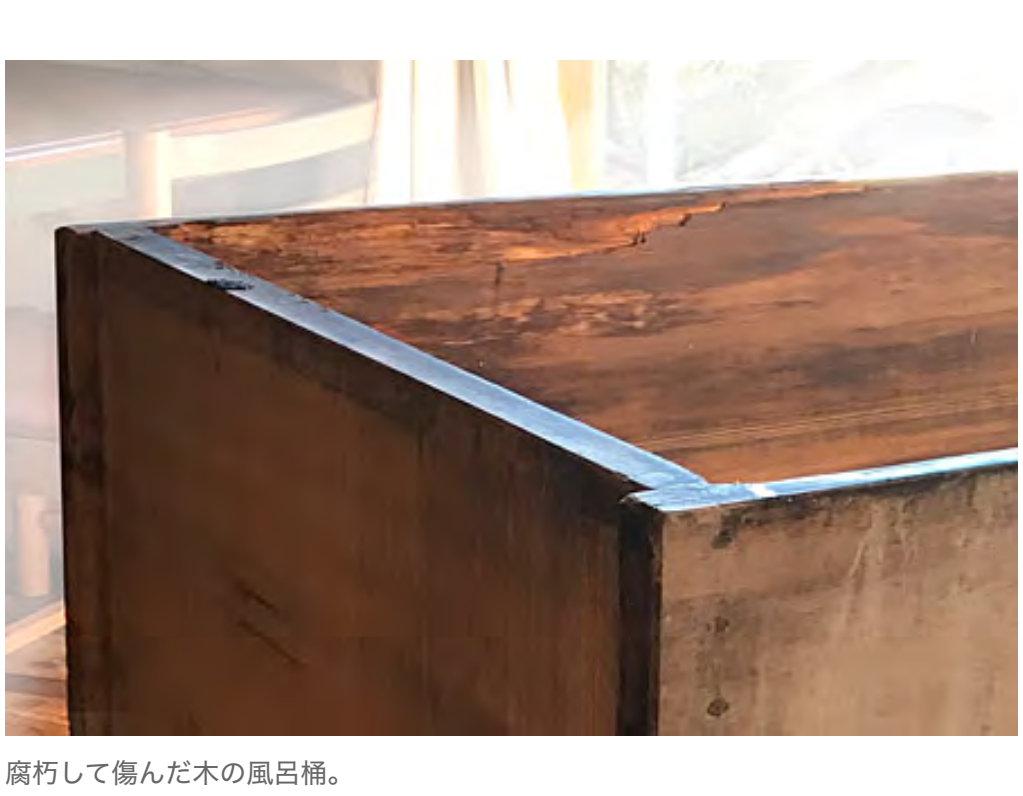
次に、今回の聞き役、木の家ネット事務局のヨハナから打ち明け話をお届けします。

どうする？！ 木の浴槽がグズグスになっちゃったら？？

わが家は、築70数年の古民家。16年前に移住してた当時は、土間の一部があとから作った風呂場で、FRPの浴槽が置いてありました。その風呂場を撤去して、圧着式のタイル貼り、風呂場の腰から上はヒバの板張りという風呂場を、地元のタイル屋兼左官屋さんに施工してもらいました。

風呂桶は、天竜の製作所から直送してもらいました。サワラで出来た結構深い浴槽で、トラックで届いた時には近所の子らで中に入って「おでん、おでん〜」と遊んでました。

16年使い続けてきて、水を張るラインより上にあたる浴槽の壁部分がブヨブヨしてきたり、ひどいところはコンビーフのように剥がれるようになりました。購入時に「木の風呂桶は、もって15年」と言われていたので、替えるしかないのは分かっていたのですが、我が家は長男の大学受験目前というキビシイ財政状況のまっただ中。「一体どうしたら・・」と途方に暮れてしまいました。


腐朽して傷んだ木の風呂桶。

ありものの風呂の内側に桧の板を内張りに！

そんな時に思いついたのが「内張り」という奇策。信頼できる大工さんと相談の上でまとまった計画は
（１）水際の上になっていた部分は切断して撤去。幸い、深めの風呂だったのでそれだけ切っても入浴時の深さは十分に確保できる。
（２）浴槽の残り部分に桧の板を内張り。底にぴっちりと敷き詰め、内壁にも縦張り。上端には、肩から腕を預けて休めるアームレストも兼ねて笠木をつける。
（３）浴槽の基部とタイル床との隙間がせますぎて掃除しにくかったので、パッキンをかませて浴槽を少し持ち上げる。
というものでした。

いよいよ学校の冬休みに決行。冬場は毎日風呂に入れなくてもなんとかなるし、休み中は近くの温泉に行く時間のゆとりもある。お正月の帰省期間で実家で入ればいい。ということで、年末の餅つき後、浴槽は大工さんの作業場に引き取られていきました。正月を乾燥期間に充て、乾燥具合を見ながら内張り加工に取りかかったのは、浴槽が家を出て半月ほど経った頃でした。

帰って来たお風呂は、桧風呂のいい香り！表面もすべすべ！気持ちよく風呂に入れる状態が戻ってきて、嬉しかったです。本来は交換すべきところの「なんちゃって」な延命措置ではありますが、木の浴槽を取り替えるとなれば20〜30万は覚悟しなくてはならず、その出費を何年か先延ばしできたことで、大学受験で地元を離れる子のためのお金に手をつけずに済みました。

そしてその仕上りは、予想以上。風呂に入った時の香り、肌あたりは、格別です。そして、それ以上家族の「風呂を大事にする気持ち」が変わりました。山根さんのいう「水を切る」掃除をし、窓を開け放ってもやもやした空気を逃がし、小澤さんの姿を思い浮かべては、風呂に入りながらも気になるところをキュキュっとブラシでこすってみたり・・それが一番の成果かな！

修繕が終わった風呂桶。桧の板を貼ったのは内側と天面だけで、外側は以前のまま。

直せるって素晴らしいこと！

大工A いやあ、苦肉の策だったね。

大工B 接着剤で貼ったわけだし、そう長持ちするとは思えないけどな。でも、まあ、大学でお金がいちばんかかる時期を当面しのぐことはできた、ということか！

大工A だよね。木の家づくりって、おもしろいよね。

大工B なんだよ。どんな風呂敷広げようっての？！

大工A 今回のは「なんちゃって」修繕だけどさ、それでも、家を大工の手でなんとか救える、再生できる手だてがある、っていうのはいいもんだな、と思うんだよ。

大工B 言われてみればそうだよな。あそこんち、庭に建てた土壁の仕事部屋の土壁をやり直したらしいじゃない？

大工A 土壁が落ちたら塗り直す。そういうのも、修繕できる余地っていうことだよな。新建材の壁やなんかで状態が悪くなってきたら「取り替える以外ない」っていうことになるけど、そうでなく木や土で部分的に直せる、というのは、優しいことだよね。

日々のメンテナンスと時々修繕とで、長く住み続ける

大工B メンテナンスフリーなんてあり得ない。家を建てたその時から劣化が始まると言ってもいいくらいで、それに対して日頃、どんな手入れをしていくのか、何年後にどんな修繕的な工事をするかということを見通せないとね。

大工A といって、ほとんどの人が家をつくるのは初めて！という中で、なかなか見通せないよね、そこまでは。事務局んちだって「15年はもたない」って言われていながら、金の工面はしてなかったんだろ？

大工B だからこそ、俺らが、そういったことを伝えてかないと、ってことさ。まあ、暮らし始めちゃうと日々のゴタゴタにそんなことも忘れちまうから、時々様子うかがいに行って、家の状態を見てやったりすることも、俺らの大事な仕事だよ。

大工A そう。それ、それ！施主さんち巡りが、結果的に営業になったりもするよな。

顔の見える関係で、家を維持していく

大工A 考えてみると、地域の大工の仕事の半分は、やってきた家の改修とか修繕だよな。俺なんて新築は半分以下さ。

大工B 家を建てる分だけ、俺らが気にして目をかける家族が増えるっていうようなもんだよ。家を建てさせてもらった家族は、親戚の数よりずっと多いよね。

大工A そうやって地域の建築の維持管理をする意識で仕事していれば、俺らもそこで支えられる、ってこと。人間、信頼第一！顔の見える関係では特にね！！

大工B おっと〜　今回も大風呂敷広げたね！休憩、終わり。戻るぞ〜！

顔の見える職人が作る姿を見ること。つくり手と施主と相談したり提案したりというやりとりのある豊かなコミュニケーション。それが家への愛着を生み、竣工後も家を大切にする気持ちを持続することにつながる。今回の風呂特集「こうやって作る、こうやって保つ」で伝えたかったのは、ハードとしての家だけでない、職人に守られているという安心感のある家っていいよね！ということ。お風呂の話を通じて、その一端を感じていただけましたら、幸いです。

Like 5　ポスト

1 2

関連する記事はこちら

原発に頼らない家づくり＆暮らし方

第八期木の家ネット総会・小江戸川越大会のレポート

無垢の木を使って森づくりを支える

鈴木祥之先生(立命館大学教授)：伝統構法で使える耐震設計法を探る

掛川総会

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

2018年3月27日 伝統建築に携わるすべての職人に光を

2018年2月7日 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ無形文化遺産候補選定のおしらせ

2018年1月2日 新春特別企画 2017年のベストショット

2017年12月14日 第17期木の家ネット総会：倉敷大会 -民家改修と曳家-

2017年10月14日 気候風土適応住宅のチラシができました！

2017年9月4日 家のお風呂　こうやって作る、こうやって保つ

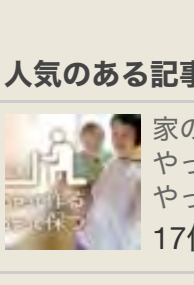
2017年8月8日 家にお風呂が入るまで

2017年6月30日 気候風土適応住宅のススメ

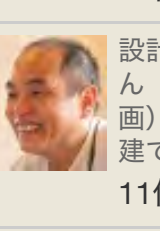
2017年6月3日 掛川総会３

2017年5月31日 掛川総会２

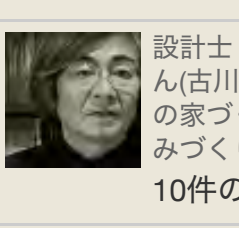
人気のある記事


家のお風呂　こうやって作る、こうやって保つ 17件のビュー

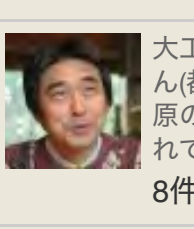
伊勢神宮遷宮・御杣始祭り：300年の大木を伐る！ 17件のビュー

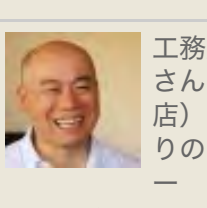

設計士・川端眞さん（川端建築計画）：小さな石場建ての家 11件のビュー

工務店・西條正幸さん(ビオプラス西條デザイン)：北海道で無垢の木の家づくり 10件のビュー

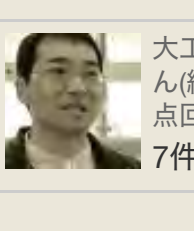

設計士・古川保さん(古川設計室)：木の家づくりは仕組みづくり 10件のビュー

大工・宮内寿和さん(宮内建築)：大工が挑戦する「水中乾燥」 8件のビュー


大工・高橋俊和さん(都幾川木建)：初原の営みに魅せられて 8件のビュー


工務店・小田貴之さん（オダ工務店）：木の家づくりのプロデューサー 8件のビュー

大工・池上算規さん(大工 池上)：長崎県産材100%の家ができるまで 8件のビュー


大工・綾部孝司さん(綾部工務店)：原点回帰 7件のビュー

この記事のタグ

同じタグがついた別の記事

事務局
〒711-0906
岡山県倉敷市児島下の町5丁目7-3
児島舎内
mail： jimukyoku@kino-ie.net
tel： 086-486-5464

(C) 職人がつくる木の家ネット /Shokunin ga Tsukuru KINO-IE net, All rights reserved.